

北
京
鐵
路
局
電
報
處
北
京
鐵
路
局
電
報
處
北
京
鐵
路
局
電
報
處



之月廿二日

付

東京市日本橋區西河岸町六番地

島平
旅館
平野
平四郎

電話本局
特長
長一三八一
番



此中之
事

お見合相せんの生産
や定づくもゆき浦
東中ミシノ相生の
モモシロ、浦々之古
佐近御下すを

名はすりあむる見
跡らま日詠見表

弓地アキ仰御シカの極

ひな小其上にて大法

跡の絆次つゝと小

事或ひすと日本改

て大體お念せ申

ウタの山妻兼ねて

不甲の者も一切不調

述心記じよ了すがゆ

からかゆきの年

四年夏月

やまの山を尋ね
不向の者も一切調

査心地じよ了ちよせ

らじゆ山をひまく
いじゆ山をひまく

田東原に薄く山を

すり口へ申上れり努力ふ

方を免る仰山お方の

混雜一方ならむ山をも

迷のから因情りよせり

而感り心配を有とね

ぬあす誠に親切の

若能事、黒ねども、

申じて、より光えよひ

乃あ段、のめんこひ

小よしよりプロトラム

モサカセおなせ怪便

萬葉歌集

卷之三

中止、一葉と光見よも
乃あ陰、のめへとす
いはせ、日アラム
モセアセお今セ怪
先もれひまえ
芦ふと迎ひ、停車
より是ナリテわ
三月方す、船
八里志久保

八里志久保